

# カリキュラム

機構施設名： 奈良職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 株式会社パワートレイン

A. バックオフィス	生成AIの活用
新技術活用	

コースのねらい	生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 生成AIの概要	(1)生成AIとは 生成AIとは何か、AIの中での位置づけ、そもそもAIとは等の基本的な概念や、どのような分野で利用されているのか等について学習します。大規模言語モデル、機械学習等、専門用語や基本概念についても平易な言葉で解説し、生成AIの全体像を把握できるようにします。	1.0
		(2)生成AIの現状と活用事例 Chat-GPT/Gemini/Grok/Microsoft Copilot 等、生成AIは現在100万種以上あるとも言われています。デモを活用し、代表的な生成AIの特徴を踏まえ、文章生成・要約・発想支援等、どの生成AIがどういう分野に使用できるかを解説します。また、企業における導入事例を紹介し、自社導入のためのヒントとします。	1.0
		(3)生成AI導入に向けたDXの基礎知識 生成AIを企業が導入する手前の準備として、企業内のデータ整理と体制づくりの必要性を学びます。AI以前にDXへの意識を持ってもらうため、DXのレベル、Microsoft 365など既存ツールとの連携やデータ品質の確保など、導入前に押さえておくべきポイントを学習します。	0.5
	2 生成AIの活用事例と今後の展望	(1)生成AIを操作する【演習あり】 業務において、生成AIを活用できるよう、実際の操作方法を学びます。講師による操作デモを実施し、プロンプトの原則である7Rを踏まえ、文章生成・要約・発想支援等、効果的にAIを操作するための基本技術を身につけます。	1.5
		(2)生成AI導入の課題 生成AIには「入力・出力・運用」の3つの段階でリスクが存在します。本記事では、倫理・安全性・透明性・責任といった守るべき原則や、個人情報保護を踏まえたセキュリティ対策、そしてガイドライン策定の重要性について解説します。	1.0
		(3)AIの今後の展望【演習あり】 生成AIの今後の企業活用について考えます。実用性とリスクの両面から、実際に企業に導入するための現場レベルでの課題と、その解決策について話し合います。	1.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
本研修では、生成AIに関する知識がまったくの初心者から日常的な使用経験者まで、幅広い層を対象としています。DX全般の知識を踏まえながら、生成AI導入の具体的な事例を見て学び、導入のためのイメージを理解します。さらに実践的な活用方法を、数多くのデモンストレーションを通じて紹介し、AIの利便性と可能性を体感いただきます。最後に、セキュリティ対策をはじめとする導入時の課題を整理し、スムーズな社内展開を実現するための方向性を明確にすることをゴールとします。